

「先輩職員の声」

福祉部 高齢介護室

社会福祉士 清水 貴之

(令和2年採用)



現在の自分の仕事

私は高齢介護室高齢支援担当に所属しており、高齢者福祉業務を携わっています。

現在は、総合事業担当として地域包括ケアシステム構築のため、地域の方々に助け合える地域づくりに取り組んでいます。

また、高齢者虐待や権利擁護について、地域包括支援センター等の関係機関、専門職と連携・情報共有しながら対応しております。

和泉市を選んだ理由

もともと社会福祉士として、まちづくりの仕事に携わりたいという思いがありました。

和泉市がトカイナカのまちであること、高齢者の方も住みやすく、子育て世帯にも環境が充実しており、人口構成も若い街なので、多様な福祉施策に携わることができると思ったからです。

実際に働いてみて

福祉の業務は、人の人生に深く関わる仕事が多く、緊急対応もあり、それだけに大変なこともたくさんありますが、自身の支援が意味を持つことを多く実感できます。

専門的な制度の理解や多様なサービスの知識、相談対応や説明する力といった技術が必要であり、責任感を持って日々誠実に取り組みたいと思っています。

仕事の面白さや和泉市の良さなど就職してみて感じること

窓口での相談対応、制度改正や事業の考案など幅広い業務に取り組むことができ、日々疑問や発見も多いので仕事の面白さを感じています。

和泉市は幅広い世代の方が生活しているので、地域ごとの特色や強みも違い、多様な取り組み、まちづくりに関わることができます。

これから和泉市を受験しようと思っている人へのメッセージ

受験動機はいろいろあると思います。私自身和泉市出身でもなく縁があったわけではありませんが、ほかの町に住んでいた視点を生かしたい、和泉市民に貢献したいと思えば、楽しく受け入れてくれる職場です。

和泉市をより良く、だれもが暮らしやすいまちづくりにするため、一緒に頑張りましょう。